

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校 日産栃木自動車大学校
設置者名	学校法人 日産学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数 又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	自動車整備科	夜・通信	2105.6 単位時間	160 単位時間	
	自動車整備・スポーツメカニクス科	夜・通信	3174.4 単位時間	240 単位時間	
	一級自動車工学科	夜・通信	4222.4 単位時間	320 単位時間	

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公開 URL : https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/tochigi/wp-content/uploads/2021/06/c5f61941291c6fdfa15c6161dcb904c2.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校 日産栃木自動車大学校
設置者名	学校法人 日産学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公開 URL : https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/tochigi/wp-content/uploads/2021/06/ela048fe6472ae91f12ea82223f79d28.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	R4. 5. 27 ~ R5. 9. 29	組織運営の統括
非常勤	株式会社従業員	R3. 9. 30 ~ R5. 9. 29	組織運営体制への チェック機能
非常勤	専門学校法人（他法人） 理事長	R3. 9. 30 ~ R5. 9. 29	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校 日産栃木自動車大学校
設置者名	学校法人 日産学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業計画作成ガイドライン (https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/tochigi/wp-content/uploads/2021/06/fa128f979d5604ce8f1fe4328bba3e79.pdf) に基づき、専門科目全てのシラバスを作成し、年度初め迄に学校ホームページに掲載し、学生及び外部に公開している。</p>	
授業計画書の公表方法	ホームページにて公開 https://www.nissan-gakuen.ac.jp/tochigi/curriculum.html
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 規定出席率を充足したうえで、試験(筆記・実習)に合格することで履修を認定する。成績については、試験の点数により優・良・可の3段階で判定する。</p> <p><u>学習評価について</u> 〈自動車整備科、自動車整備・スポーツメカニクス科1、2年次、一級自動車工学科〉 学習評価は教科ごとに試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められない。また、可否の判定は「判定基準」により行う。</p> <p>〈期末試験〉 ・教科の学習効果を判断するために、教科毎に行われる。 実習については授業内容の進捗により、教科の途中で試験の一部を実施することがある。</p> <p>〈判定基準〉 1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とする。 2) 学科、実習共に成績得点が60点(一級自動車工学科:70点)以上を合格とする。 ※国家2級および1級資格取得のための特定の教科においては、80点以上を合格とする。 3) 成績得点を基に評定(優・良・可)、成績順位が決められる。 ※優:80点以上 良:60点以上(一級自動車工学科:70点以上) 可:60点未満(一級自動車工学科:70点未満) ※評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められる。</p>	

<p>〈自動車整備・スポーツメカニクス科 3 年次〉 学習評価は教科ごとに期末試験、レポートの提出や課題の出来栄えによって判定する。</p> <p>〈成績得点〉 教科毎に、レポートや課題の内容により 100 点満点で評定する。</p>	
<p>3. 成績評価において、G P A 等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 半期ごと及び年間の期末試験結果の合計で相対順位付けを行い0から1まで数値化する。 下位 1/4、下位 1/2 を明示する。 学生への公表は掲示板への掲示とし、下位 1/4 の支援対象学生に対しては担任から口頭で通知する。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>ホームページにて公開 https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/tochigi/wp-content/uploads/2021/06/bad09913735f1e2af35054dc41cafed2.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業認定方針に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している。</p> <p>〈ディプロマポリシー〉 自動車整備科、自動車整備・スポーツメカニクス科 1、2 年次 1種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に文部科学大臣告示による専門士(工業専門課程)を授与する</p> <p>1. 資格 ① 国家二級自動車整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、整備士として基本的な自動車整備作業ができる</p> <p>2. 技術 ① 日産3級整備士資格を取得できる知識と技術を有している ② 日産資格制度の日産3級技術能力要件項目に沿った内容の作業ができ、CS マインドを身に付け、一連のお客様対応スキルを身に付けている</p> <p>3. 人間力 ① 自主性を基に学ぶ意欲、向上心を持ち、自ら課題に対し積極的に取り組む姿勢を身に付けている ② チームの一員として共同作業のベースとなるコミュニケーション力を有している ③ 社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる</p> <p>一級自動車工学科 1種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に文部科学大臣告示による高度専門士(工業専門課程)を授与する</p> <p>1. 資格 ① 国家一級自動車整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、自動車エンジニアとして高度で総合的な知見を有している</p> <p>2. 技術 ① 日産2級整備士資格の学科試験に合格できる知識を有している ② 日産資格制度の日産2級技術能力要件項目に沿った内容の作業ができ、CS マインドを身に付け、一連のお客様対応スキルにより、お客様満足を優先する対応ができる ③ 企業経営に関する知識を身に付け、業務効率の重要性を理解している</p> <p>3. 人間力 ① 主体性を基に自ら学ぶ意欲及び探究心を持って学習し、自ら目標を掲げて行動できる ② 組織の中で自分の役割を理解し、主体的に課題を解決する行動力を身に付けている</p>	

- ③ 相手の気持ちや考えを理解するコミュニケーション力を持ち、チーム全体をリードしていく意思を有している
- ④ 積極的に社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる

スポーツメカニクス科 3 年次

レースを通して実践的に自動車整備技術を修得するとともに、レースに運営に必要なチームワークからコミュニケーション能力を養う。

1. 資格

実践的な自動車整備作業ができる。また、国内 A 級ライセンスを取得できる自動車運転技術を身に付ける。

2. 技術

- ① 自動車整備作業の基礎となる金属加工技術を有している。
- ② 重整備におよぶ自動車整備作業技術を有している。
- ③ 高度な自動車の運転技能を有している。

3. 人間力

目標を共有するチームにおいて、そのチームワークを発揮できるコミュニケーション能力を有している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

ホームページにて公開

<https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/tochigi/wp-content/uploads/2021/06/d341be7fc4219f916cd3e7470fc1f1a0.pdf>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校 日産栃木自動車大学校
設置者名	学校法人 日産学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/tochigi/wp-content/uploads/2021/06/1f0ed2e006c5b0072023d3255098c19c.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/tochigi/wp-content/uploads/2021/06/353d015de51741c7bdda546803e86dbb-1.pdf
財産目録	https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/tochigi/wp-content/uploads/2021/06/c0ce3a474e0e98e04b63c10fc7d85d55.pdf
事業報告書	https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/tochigi/wp-content/uploads/2021/06/11b1238d66afe4d86ac96e2faae601a1.pdf
監事による監査報告(書)	https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/tochigi/wp-content/uploads/2021/06/2530059773538a63df2be6a2f037f03c.pdf

2. 教育活動に係る情報

① -1 学科等の情報（自動車整備科）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業		工業専門課程	自動車整備科	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼	2105.6 単位時間	758.4 単位時間		1347.2 単位時間			
			1880 単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
100人		100人	26人	人	11人	11人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>学年の基準修業週は45週とし1週間の修業時限は原則として20時限とする。1時限は80分とし、1教育単位時間50分とする</p> <p>1年次:962時間以上</p> <p>2年次:918時間以上</p> <p>の専門教育を行う</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められない。</p> <p>可否の判定は下記「判定基準」により行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とする。 2) 学科、実習共に成績得点が60点以上を合格とする。 ※国家2級資格取得のための特定の教科においては、80点以上を合格とする 3) 成績得点を基に評定（優・良・可）、成績順位が決められる。 ※優:80点以上 良:60点以上 可:60点未満 ※評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められる
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業認定方針に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>クラス担任制をとり、学生の相談を受け、アドバイス等の対応を行う</p> <p>状況により個人面談や保護者面談を行う</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
70人 (100%)	0人 ()%	69人 (98.6%)	1人 (1.4%)
（主な就職、業界等） 日産販売会社、メーカー系販売会社、自動車関連サプライヤ			
（就職指導内容） 外部講師による就職授業および担任による個別指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 2級ガソリン自動車整備士、2級ジーゼル自動車整備士 日産整備士3級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
49人	2人	4.1%
（中途退学の主な理由） 学習意欲の欠如、学費未納		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任による個人面談、学年担当による観察		

① -2 学科等の情報（自動車整備・スポーツメカニクス科）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	自動車整備・スポーツメカニクス科	○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
3年	昼	3174.4 単位時間	761.6 単位時間		2412.8 単位時間	
			2768 単位時間			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
45人		18人	1人	1人	11人	12人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>学年の基準修業週は45週とし1週間の修業時限は原則として20時限とする。1時限は80分とし、1教育単位時間50分とする</p> <p>1年次:910時間以上 2年次:890時間以上 3年次:800時間以上</p> <p>の専門教育を行う</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>〈自動車整備・スポーツメカニクス科3年次〉 （1年次2年次は自動車整備科と共通） 学習評価は教科ごとにレポートの提出や課題の出来栄によって判定する。</p> <p>〈成績得点〉 各教科毎に、レポートや課題の内容により100点満点で評定する</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業認定方針に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>クラス担任制をとり、学生の相談を受け、アドバイス等の対応を行う 状況により個人面談や保護者面談を行う</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4人 (100%)	人 (%)	4人 (100%)	人 (%)
（主な就職、業界等） 自動車販売会社、メーカー系販売会社			
（就職指導内容） 外部講師による就職授業			
（主な学修成果（資格・検定等）） 2級ガソリン自動車整備士、2級ジーゼル自動車整備士、 日産整備士3級 国内A級ライセンス			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任による個人面談		

①-3 学科等の情報（一級自動車工学科）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	一級自動車工学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	4222.4 単位時間	1427.2 単位時間		2795.2 単位時間		
			3846 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
220人		132人	2人	4人	11人	15人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 学年の基準修業週は45週とし1週間の修業時限は原則として20時限とする。1時限は80分とし、1教育単位時間50分とする 1年次:910時間以上 2年次:890時間以上 3年次:800時間以上 4年次:800時間以上 の専門教育を行う。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要） 学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められない。 可否の判定は下記「判定基準」により行う。 〈判定基準〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とする。 2) 学科、実習共に成績得点が70点以上を合格とする。 ※国家1級資格取得のための特定の教科においては、80点以上を合格とする。 3) 成績得点を基に評定（優・良・可）、成績順位が決められる。 ※優:80点以上良:70点以上 可:70点未満 ※評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められる。
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要） 卒業認定方針に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している。</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要） クラス担任制をとり、学生の相談を受け、アドバイス等の対応を行う 状況により個人面談や保護者面談を行う</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
42人 (100%)	1人 (2.4%)	41人 (97.6%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 日産販売会社、メーカー系販売会社、自動車関連サプライヤ			
（就職指導内容） 外部講師による就職授業			
（主な学修成果（資格・検定等）） 2級ガソリン自動車整備士、2級ジーゼル自動車整備士、1級小型自動車整備士 日産整備士3級、日産整備士2級、日産テクニカルアドバイザー3級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
135人	6人	4.4%
（中途退学の主な理由） 学習意欲の欠如、就職		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任による個人面談、学年担当による観察		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
自動車整備科	240,000 円	642,000 円	565,000 円	入学検定料:25,000 円 実習実験費:130,000 円 施設設備費:230,000 円 学生諸費用預り金:180,000 円
自動車整備・スポーツ メカニクス科	240,000 円	642,000 円	565,000 円	入学検定料:25,000 円 実習実験費:130,000 円 施設設備費:230,000 円 学生諸費用預り金:180,000 円
一級自動車工学科	240,000 円	642,000 円	565,000 円	入学検定料:25,000 円 実習実験費:130,000 円 施設設備費:230,000 円 学生諸費用預り金:180,000 円
修学支援 (任意記載事項)				
特待生奨学金:学費免除 25 万円、遠隔地奨学金:学費免除 25 万円、女子奨学金:学費免除 5 万円、企業推薦奨学金 25 万円、リアライズ奨学金 50 万円				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/tochigi/wp-content/uploads/2021/06/a6ccadc6c4cf276bcaea99a85b3100dd.pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校の実施する自己点検評価に対し、学校関係者による「学校関係者評価委員会」を設けて外部評価を実施し、学校運営の継続的改善を図る。 ・主な評価項目:教育活動、学修成果、就職等の学生支援、学生募集、財務、等 ・評価委員会の構成:委員定数は最低3名。少なくとも①関係企業等、②業界団体等、③卒業生、の各分野から1名を選任。 ・評価結果の活用:6月迄に前年度を対象に評価を受け、当年度の活動で、その改善方策を実施する。総責任者は校長		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
上三川町 総務課長	R3年4月1日～当面の間	自治体代表
栃木県自動車整備振興会 教育技術 部教育課 課長代理	R3年4月1日～当面の間	団体代表
栃木日産自動車販売(株) 営業本部店 舗支援グループ執行役員 / 第4期 卒業生	R3年4月1日～当面の間	卒業生代表
"日産プリンス栃木販売(株) サポート 本部 教育チーム 課長	R3年4月1日～当面の間	企業代表

学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/tochigi/wp-content/uploads/2021/06/11c1527022f3752dd1f58259c7de77fe.pdf
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.nissan-gakuen.ac.jp/tochigi/
--

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。